

実証課題名	富山市センサーネットワークを活用したエゴマ栽培におけるスマート農業の確立
構成員	富山市、富山県立大学、(株)健菜堂、(株)グリーンパワーあおば、(株)北陸近畿クボタ、クボタアグリサービス(株)、JVS(株)、(株)CHRONOX、(株)ナリキ、あおば農業協同組合、山田村農業協同組合

【背景・課題】

- 大規模農地でのエゴマ栽培では、直播栽培体系の構築や株間除草の省力化が課題
- 高齢化や担い手不足が深刻な中山間農地においては、難易度の高い機械操作の解消や重労働作業の削減が課題



本実証プロジェクトにかける想い

全国で唯一の、エゴマ栽培におけるスマート農業技術の導入実証です。
労働力不足や大規模農地栽培への対応といった課題を解消し、持続可能な営農体系の実現を目指します。

【目標】

- 株間除草ロボットや自動運転トラクタ、自走式草刈機等による労働時間の20%削減
- リモートセンシングを活用した生育診断による単収の10%増加

【実証する技術体系の概要】

要素技術 ①自動運転トラクタ、②GPS自動操舵システム、③自走式草刈機、④ドローンや土壌センサー等によるリモートセンシング、⑤株間除草ロボット

時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「見られる！」ポイント	①、② 自動運転トラクタ等											
		③ 自走式草刈機										
		④ リモートセンシング										
		⑤ 株間除草ロボット										



①自動運転トラクタ



③自走式草刈機



④リモートセンシング



⑤株間除草ロボット

【問い合わせ先】

実証代表	富山市農林水産部農政企画課	e-mail : nouseikikaku-01@city.toyama.lg.jp
視察等の受入について	富山市農林水産部農政企画課	e-mail : nouseikikaku-01@city.toyama.lg.jp